

お客様/報道関係者様各位

CLT（直交集成板）製品の二酸化炭素排出量、環境負荷を見える化

－銘建工業株式会社が2024年5月にエコリーフ(現：SuMPO EPD)を取得－

銘建工業株式会社（本社：岡山県真庭市、代表取締役社長：中島浩一郎）は、2024年5月、CLT（直交集成板）製品について、木材・木質系建築構造材として初めて、第三者検証を受け、国際規格ISO 14025に基づく環境製品宣言/エコリーフを取得しました。（<https://ecoleaf-label.jp/epd/1525>）

エコリーフの取得により、当社 CLT 製品を使用した建築物の二酸化炭素排出量を含む環境負荷の定量的な把握・見える化が可能となります。

当社は、CLT に引き続き、集成材・ペレットの SuMPO EPD を取得し、将来的な銘建工業グループのサプライチェーン全体の排出量（Scope3）の把握および、2050年のカーボンニュートラル社会実現に向け、より一層の環境経営に努めてまいります。

エコリーフ(現：SuMPO EPD)について

エコリーフは、ISO で定められた LCA（ライフサイクルアセスメント）手法に基づいて算定された製品の環境負荷を評価、検証する第三者検証プログラムです。国内では、(一社)サステナブル経営推進機構（SuMPO：さんぽ）が唯一の検証・登録機関となっており、国際的には EPD（Environment Product Declaration/環境製品宣言）と呼ばれています。欧米各国では、公共調達等において EPD を取得した製品の調達を優先することが推奨されており、LEED などのグリーンビルディング認証でも活用されています。



<お問い合わせ先>

銘建工業株式会社 開発部 〒717-0013 岡山県真庭市勝山 1209 電話：0867-44-4880

お問い合わせフォーム：<https://www.meikenkogyo.com/contact/>

※お問い合わせ項目「その他」を選択して入力ください。